

修正

96頁の(1)式の定義は、世帯規模によるウェイト付けをしていないため、集計されたFGT指標としては不適切であった。正しくは m_i を世帯 i の世帯員数とすれば

$$P(a) = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^q w_i \left(\frac{z - y_i}{z} \right)^a = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^q w_i P_i(a), \quad (1)$$

ただし、 $w_i = \frac{m_i}{\frac{1}{n} \sum_{i=1}^n m_i}$ すなわち各世帯の成員数の成員数平均に対する比率に応じたウェイト、となる。

なお、この修正によって、表2、図1、図2もすべて以下のように修正される。ただし、この修正によって論文内での説明や結論に定性的変化は全く生じない。

表2 一人当たり年間消費支出額と貧困指標(修正版)

	標本数	消費支出額(Rs.)		貧困線7140Rs.の時のFGT指標			
		平均	標準偏差	貧困世帯比率\$	貧困者比率 P(0): HCI	貧困ギャップ比率 P(1): PGR	二乗貧困ギャップ比率 P(2): SPGR
全標本	354	5858	2889	0.740	0.792	0.308	0.143
村別							
ユースフ・ヘール	119	5243	2268	0.807	0.885	0.369	0.174
ヒンコ・ダマン	116	5550	2656	0.750	0.796	0.332	0.167
タルナーブ	119	6772	3411	0.664	0.677	0.214	0.083
家計タイプ別							
非農家	119	5148	2159	0.849	0.892	0.352	0.167
自作農	125	6338	3534	0.704	0.750	0.285	0.133
自小作農	50	6514	2796	0.600	0.721	0.281	0.123
小作農	60	5718	2448	0.717	0.767	0.304	0.139

注：年間消費額に関するデータ欠損のある1標本(タルナーブ村自小作農)を除く標本から作成。
\$ 「貧困世帯比率」とは修正された式)において、 $w_i = 0$ 、 $w_i = 1$ とにおいて計算した値。

図1 村別の消費額累積分布 (revised)

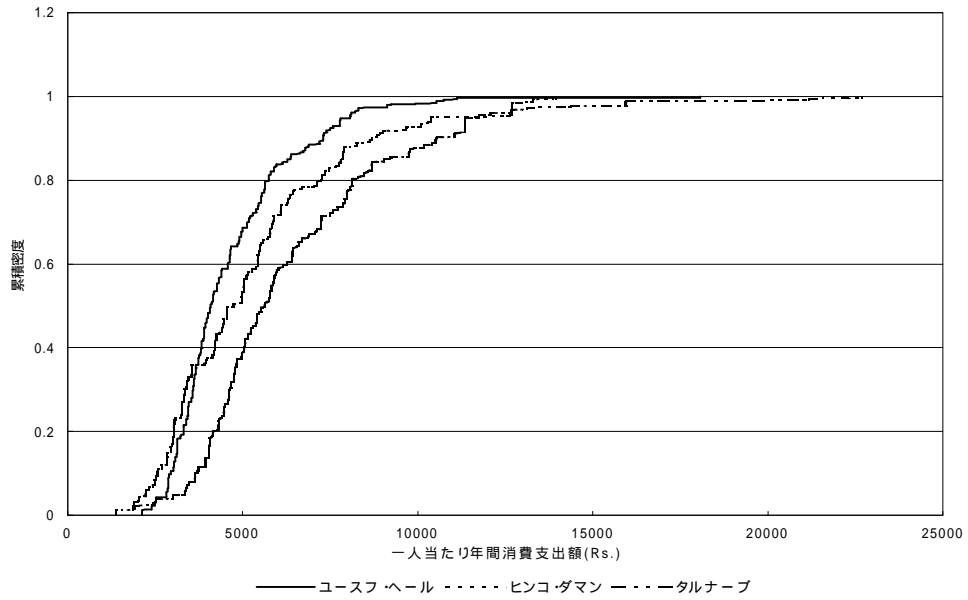


図2 家計タイプ別の消費額累積分布 (revised)

